

## I T活用美術科学習指導案

作成者 教育センター指導主事

1. 校 種 中学校

2. 対象生徒 第2学年

3. 教科等 美術2

4. 題材名 心をつなごう ～大切な人へのメッセージ～

5. 題材の指導計画（総時数9時間）

第一次 心と気持ちの伝わるメッセージカードをデザインしよう・・・（1時間）

第二次 伝えたい思いが表れた作品を探そう・・・（1時間）

第三次 伝えたい思いを言葉や文にしよう・・・（2時間）

第四次 伝えたい思いをデザインしよう

1時 受け取る人と気持ちが通い合うように、効果的な表現を構想しよう・・・本時

2時 伝えたい心を表すために、文字の形と色を工夫しよう

3時 伝えたい心を表すために、文字の配置を工夫しよう

4時 伝えたい心を表すために、デザインを工夫しよう（第四次の計4時間）

第五次 作品から伝わるメッセージを読み取ろう・・・（1時間）

6. 本時の学習

(1) 題 目 伝えたい思いをデザインしよう

受け取る人と気持ちが通い合うように、効果的な表現を構想しよう

(2) ねらい

心や気持ちを伝えるための文字の形や大きさ・色のそれぞれの感情や表情，その働きに関心を持ち，それを表現に生かそうとし，意欲的に取り組み，創意工夫しようとしている。

【美術への関心・意欲・態度】

受け取る人の気持ちを考え，気持ちが通い合うように，想像力を働かせて文字の形や色の様々な組み合わせによる効果的な表現を豊かに発想・構想し，表現に生かす工夫をする。

【発想や構想の能力】

(3) I T教材を使う意図

美しいデザインを追求する学習においては，他者の立場を大切にしたい表現活動を通して，「豊かな心」を育むことが大切である。「夢や想像など」から「独創的に発想」し，伝えたい内容をいかに表すか，その効果的な表現のデザイン方法についてコンピュータ等の様々な機能をビジュアルコミュニケーションの手段として考えていくようにしたい。

(4) 使用ソフト

Microsoft 社 PowerPoint2003, Microsoft 社 Word2003, Adobe 社 Photoshop Elements 3.0

(5) 展 開

欄	学習過程	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
5分 導入	1 前時までの振り返り	○作品とメッセージを制作シートで確認する	・選んだ作品とメッセージの準備ができているかを確認させる	
	2 本時の過程とねらいを確認	○過程とねらいを確認する	・効果的な表現を豊かに発想・構想するように伝える	
40分 展開	3 文字の表情と色の感情を確認	○文字の表情と色の感情, それぞれの働きについて確認する	・文字と色の表情や感情のそれぞれの働きを確認させる  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字デザインの要素 ①</li> <li>・文字のフォントとポイント ②</li> <li>・文字色と背景色の組み合わせ ③</li> </ul> </div>	<p>【美術への関心・意欲・態度】文字の形や大きさ・色の働きに関心を持ち, 意欲的に取り組み, 創意工夫しようとしている (行動観察)</p> <p>【発想や構想の能力】想像力を働かせて, 効果的な表現を豊かに発想・構想し, 表現に生かす工夫をしている (行動観察・作品)</p>
	4 作品にメッセージを書き込む	○作品の画像にメッセージを文字入力する	・作品のモチーフを生かした文字の配置を考えさせる  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のモチーフを生かした文字の配置 ④</li> </ul> </div>	
	5 文字の配置を考える	○作品の大切な部分を生かした文字の配置を考える	・作品のモチーフを生かした文字の配置 ・作品の構図と文字の配置を工夫した参考例を示す	
	6 文字の配置を工夫する	○効果的な文字の配置を工夫し, レイアウトをいろいろ試してみる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の構図を生かした文字の配置の参考例 (風景と文字) ⑤</li> <li>(人物の向き) ⑥</li> <li>(トリミング) ⑦</li> </ul> </div>	
5分 まとめ	7 データの保存と本時の振り返り	○データに名前(日付)を付けて保存し, 本時の振り返りを記録する	・データに名前(日付)を付けさせ, 各自のフォルダに保存させる (上書き保存させない)	
	8 次時の予告	○次時の予告を聞く	・次回は, 文字の形と色を工夫しながら, いろいろな効果を試すことを伝える  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字のフォント ⑧</li> <li>・いろいろな効果 ⑨⑩</li> </ul> </div>	

